

# 基本調査 基本調査 解析方法 行動パターン調査と線量率マップ

## 行動パターン調査

福島県県民健康調査の問診票より  
行動パターンを調査

調査対象期間

平成23年 3月11日～7月11日の4か月間

調査項目

- 滞在（場所、時間、建物の造り）
- 移動（場所、時間）

時間	滞在場所	時間	滞在場所	地名・施設名
0	居	3	居	自宅
6	出	9	出	自宅の車
12	入	15	入	勤務所
18	出	21	出	勤務所
24	入		入	自宅
例	居		出	ICD 車×××中学校
	居		出	ICD 車×××中学校

## 線量率マップ

SPEEDIと文部科学省データから  
1日平均の実効線量率マップを作成



3月12日～14日 SPEEDIの評価結果  
(実効線量率)

3月15日以降 文部科学省(当時)公表  
のモニタリングデータ  
(周辺線量当量率)

周辺線量当量率に0.6を乗じて  
実効線量率に換算

2 km×2 kmのメッシュに区分け  
離散データをソフトで内挿しマップ化  
※自然放射線の値を含まない。

積算実効線量計算

行動パターン及び線量率マップから実効線量を評価

福島県ウェブサイト「外部被ばく線量の推計について（外部被ばく線量評価システムの概要と避難行動のモデルパターン別の外部被ばく線量の試算結果）放射線医学総合研究所」平成23年12月13日 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/6494.pdf> より作成

基本調査では、行動パターン調査の結果と線量率マップを組み合わせ、外部被ばく線量評価が行われています。対象者の方に記入いただいた、この調査期間にどこにどれだけ、どのような建物の中にいたか、といった行動の記録と線量率マップを組み合わせ、線量を評価しています。

本資料への収録日：平成 25 年 3 月 31 日

改訂日：平成 28 年 3 月 31 日